## 男フェス3年振り開催 懇親会なし!

## 彩の国男声コーラスフェスティバル2022

加藤良一 令和4年(2022)10月5日

2020年、21年と2回にわたり中止していた彩の国男声コーラスフェスティバルを、ようやく開催することができました。



筆者がデザインした県連の幅

### 彩の国男声コーラスフェスティバル2022

2022年10月1日(土) 秩父宮記念市民会館大ホール (埼玉県秩父市)

—— 出演 ———

Chor Ursa Major/in high glee/飯能フォレストコール
所沢メンネルコール/秩父混声合唱団/男声合唱団ヴィヴ・ラ・コンパニー
ベーレンタール男声合唱団/男声合唱団オールアリオン\*\*/男声合唱団コール・グランツ
男声合唱団メンネル A.E.C. /Îl Campanile/メンネルコールありの実
(※法政大学アリオンコールOB・OG会)

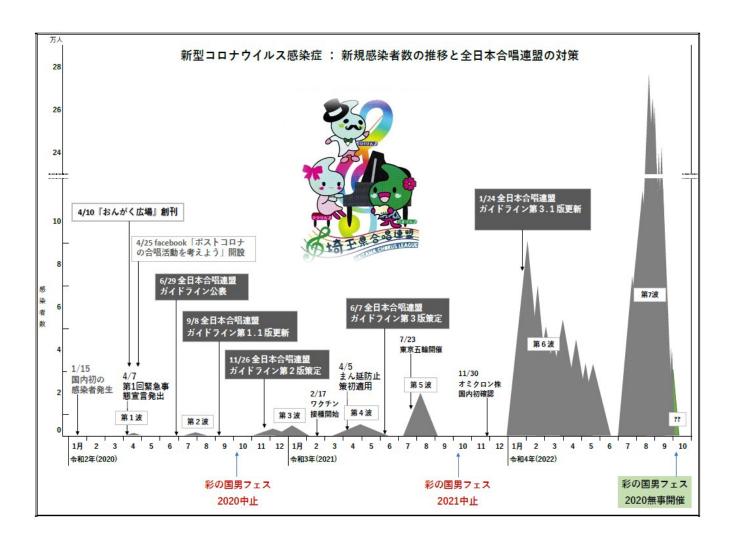
出演団体は、前回の31団体からぐっと減り12団体となりましたが、このコロナ禍ですからやむをえませんね。

#### 2年続けて中止の異常事態から脱出

2年前の彩の国男フェスは、「秩父ミューズパーク」で開催予定でした。音楽堂で演奏会を行い、その後隣りの野外ステージで懇親会という流れです。合同曲には、木下牧子作曲「鷗」と「夢みたものは」を山脇卓也先生の指揮で演奏することにしていました。この時はとりあえず懇親会も組まれていました。しかし、参加募集の開始がコロナ禍第1波直後の5月で、全日本合唱連盟ガイドラインもまだ出ておらず、どの団体も活動が停止している状況でした。当然、練習もできないため、参加希望団体も少なく、当初から悲観的な見方が大勢を占めていました。

けっきょく、その後もコロナ禍は衰えを見せず、第2波が襲ってきたことで、一縷の望みも絶たれ、8月になって中止を決断するに至りました。

翌2021年も先行き不透明のまま、会場を「彩の国さいたま芸術劇場」に移し、10月3日開催で可能性を模索しました。合同演奏としては、「Ride the chariot」「斎太郎節」「いざ起て戦人よ」などの定番曲を歌うという、かなり簡素化したプログラムとしました。とにかく開催に繋げることを第一優先としての対策でした。



筆者が団長を務める男声合唱団ヴィヴ・ラ・コンパニー(ヴィヴコン)と男声合唱団コール・グランツでは、早速参加の方向で練習計画を立て、曲を選定しました。ヴィヴコンは5団体から集まるのでいつも大変ですが、メンバー集めの準備を開始しました。しかし、「懇親会なし!」の男フェスでは参加団体が減少することは必至でした。

さいたま芸劇は、秩父よりは埼玉の中心に近いとはいえ、アルコール抜きの男フェスは魅力が半減するのは無理からぬこと。そんな中でも、17団体の参加申し込みがありました。参加予定の団体はそれぞれの事情に合わせて頑張って練習しましたが、なんと大会1か月前の9月3日になって、またしても中止となってしまいました。

「コンクールはやったのに、なぜ男フェスは中止なのか?」というぼやきに対して、埼玉県合唱連盟・小野瀬照夫理事長は「コンクールは音源によるものと実際の演奏とを並べて審査しましたが、団体ごとの接触を避けるために、受付時間をずらすなどの調整や演奏後の即時退出などをお願いしました。しかし、男フェスはいわゆるフェスティバルであり、全員が集い、歌い合い、歓談して盛り上がってこその催しですので、リモートでの開催は考えられません。そこで止む無く中止と致しました。」と苦しい胸の内を明かしていました。

悪夢のような2年間は、上の図に示したように感染状況を睨みながら、全日本合唱連盟のガイドライン等を参考にして、如何にしたら開催できるかという可能性を探る厳しい環境のなかで過ぎていきました。



## 男フェス本来の姿ではないが、まずは開催することが大切…

そして、今年こそはとの思いもあり、気持ち新たに大会を企画しました。果たしてどれ だけの団体が参加してくれるのだろうか、最後まで心配は尽きませんでした。

会場の秩父宮記念市民会館大ホール(1,007席)は、2017年オペラ、バレエ、コンサート、演劇、伝統芸能など、幅広い演目に対応した多目的ホールとして建設された施設です。客席と舞台を区切る額縁型の壁面持つプロセニアム形式と呼ばれるもので、観客はその開口部を通して、ちょうど額縁のなかの絵のように舞台を眺められます。秩父産の木材をふんだんに使った落ち着きのある空間です。会場としては文句ありません。秩父市長はじめ地元の八尾百貨店さんなど多くのご協力を得ることもできました。



司会はハッサンこと蓮沼喜文常務理事(写真右)と筆者(同左)が担当し、懇親会のようなユル~イ流れで進めさせて頂きました。不行き届きがあったかもしれませんが、それも演出のうち?!ご容赦下さい。 客席での声出しはできないので歌うのはステージのみ、かつ不織布マスク装着が条件です。更衣室はありますが、リハーサル室はありませんでした。

当日午前中は、公募の**フェスティバル合唱団**が合同演奏「**この道を行く**」と「**酒頌**」を講師の**武田雅博** 先生の指導のもとに練習しました。

開演は午後1時。12団体を2ブロックに分け、さらに出演番号奇数と偶数の2ブロックに分け、計4ブロックにして交互にステージ上で合同演奏する形としました。これでどの団体も4曲の合同演奏をステージで歌うことができます。とにかく1曲でも多くの男声合唱を歌ってもらえるよう工夫しました。

# PROGRAM

ブロック合同演奏 ① 「いざ起て戦人よ」 指揮:松原眞介(全日本合唱連盟関東支部長)

「ふるさと」 指揮: 小野瀬照夫(埼玉県合唱連盟理事長)

参加団体演奏 No.1~6

—— (休憩)

ブロック合同演奏 ② 「斎太郎節」 指揮:細田貴大 (ll Campanile)

「秋のピエロ」 指揮: 古澤利人 (ベーレンタール男声合唱団)

参加団体演奏 No.7~12

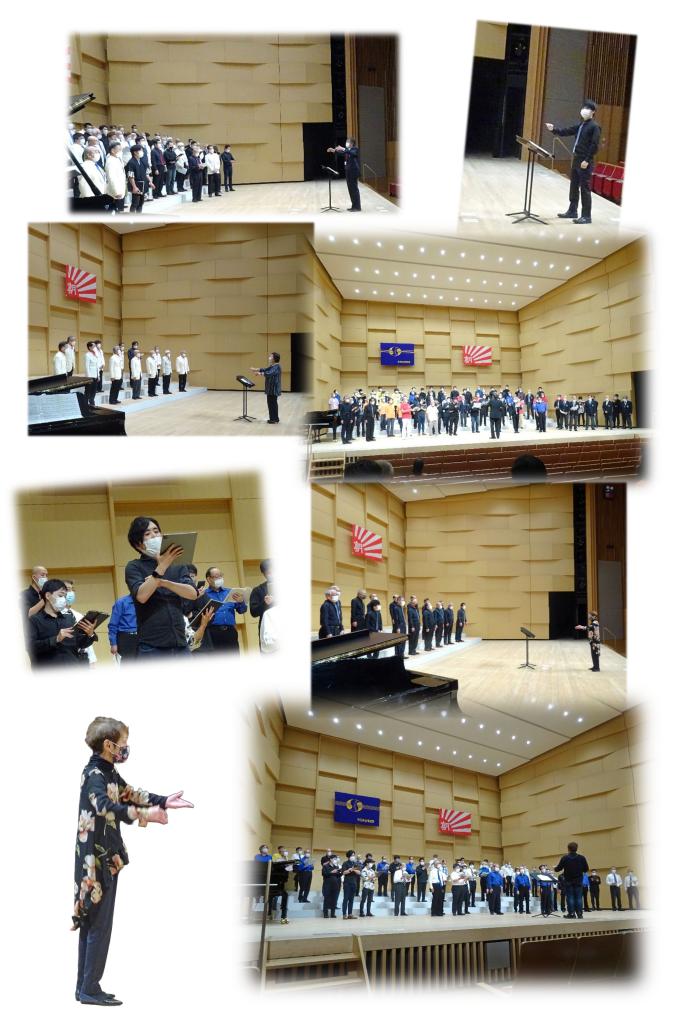
ブロック合同演奏 ③ 「柳河」 指揮:柳嶋耕太(in high glee)

「最上川舟唄」 指揮:齋藤詩子(メンネルコールありの実)

■講評&表彰式■ 武田雅博

フェスティバル合唱団演奏 「この道を行く」「酒頌」 指揮:武田雅博

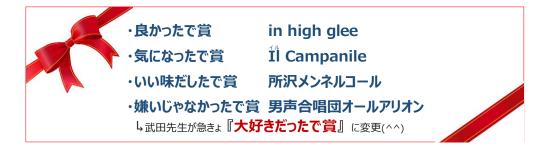
ブロック合同演奏 ④ 「遥かな友に」 指揮:玉川昌幸(全日本合唱連盟関東支部副支部長)







松原眞介先生、玉川昌幸先生、武田雅博先生の三人の講師による審査の結果、以下の4団体が表彰されま した。



蓮沼喜文

関東支部の共催は諸般の事情により今回をもって 最後となりましたが、彩の国男声コーラスフェスティ バルは連盟加盟の有無を問わないオープン参加です。 これからも関東一円の合唱団にお声がけしますので、 ぜひご参加ください。

来年は9月に桶川市(JR大宮駅から15分の桶川駅)で予定しています。なんとかコロナ禍が収まり、マスクが外れ、心おきなく懇親会で盛り上がれるのを祈るばかりです。アマビエ様のご加護を...

加藤良一 埼玉県連理事長 県連常務理事

小野瀬照夫

(筆者)

玉川昌幸 関東副支部長

武田雅博氏

松原眞介 関東支部長

#### 【関連情報】

彩の国男声コーラスフェスティバル (Top 頁)

M-157 彩の国男声コーラスフェスティバル 2018 in 秩父

M-150 彩の国男声コーラスフェスティバル 2017

M-149 男声合唱大会の歩み 埼玉~関東~全日本

M-139 彩の国男声コーラスフェスティバル 2016 ~20 年目にして埼玉に里帰り

M-116 彩の国男声コーラスフェスティバル 2013

<u>M-104</u> 埼玉の男声合唱が元気です 彩の国男声コーラスフェスティバル 2011 (以下省略)



音楽・合唱コーナーTOPへ



HOMEPAGE∧